



社会福祉法人
肝付町社会福祉協議会
肝付町ボランティアセンター

望 縁 郷

vol.52
2025

編集発行：肝付町社会福祉協議会 【やぶさめの里総合公園福祉会館内】
TEL：0994-68-8188 FAX：0994-68-8187
<https://www.shakyo.or.jp/hp/1761/>



令和6年12月10日、文部科学省で「令和6年度障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰式が行われました。今年度は全国48団体が表彰を受けられ、『パラスポおおすみ』は「障害者の生涯学習支援活動奨励活動表彰」を授賞されました。

平成28年に、肝付町社会福祉協議会が障がい児・者スポーツを日常的に行える拠点として支援者育成を行い、ネットワーク化を図りながら各種スポレク体験に取り組みました。令和2年から大隅地区の恒常的活動拠点としての事業を導入し、『パラスポおおすみ』を立ち上げて、町内外から参加される個人・団体の皆さまとともに楽しく活動を行っています。

【申し込み】活動日時：毎月第3土曜日 午前10時～正午
参加費：無料
対象者：年齢・性別・障がいの有無に関わらずどなたでも参加できます。
※必ず電話申し込みのうえご参加ください。 事務局 0994-68-8188

◆記事内容◆

- 新年の挨拶、令和6年度ふくし標語最優秀作品発表 P2
- 肝付町共同募金委員会よりお礼 P3
- 日本赤十字社肝付町分区だより P4、P5
- ボランティア団体の活動を紹介 P5
- 児童・生徒の「福祉教育」学習 P6
- 「四季のたより」国見園 P7
- 地域のイベントを紹介 P8

望縁郷(ぼうえんきょう)の願い!

望んでいます。地域の温かいつながり(縁)で、誰もが安心して暮らせる肝付町(郷)であることを!

ボランティアや福祉活動を、気軽に楽しく(エンジョイ)、今日(キョウ)から始めて頂きたいと願っています!

この「望縁郷」が故郷肝付町と町外の肝付町出身の方との望遠鏡(ぼうえんきょう)になれば願っています!

この情報誌は、共同募金の助成を受けて発行されています。

新年のあいさつ

社会福祉法人 肝付町社会福祉協議会

会長 松元 一昭



新年あけましておめでとうございます。皆様には輝かしい年を迎えられたこととお喜び申し上げますとともに、旧年中は本会に対しまして、格別のご支援・ご協力を賜り、心から感謝いたします。

本会では、役員一同地域の皆さまの様々な課題や養護老人ホーム「国見園」にご入居されている方々への支援に対応すべく福祉向上に鋭意努力しているところでございます。近年の国外の武力衝突や終わりの見えない紛争に加え、昨年は国内でも石川県能登半島で発生した地震による津波や火災、家屋倒壊の大規模災害に続き、八月末に発生した同半島での豪雨災害、宮崎県の日向灘を震源とする震度六弱の地震などで今でもなお不安な日々を送られている方々が後を絶ちません。そのような中、本会からも石川県珠洲市に二名の職員が現地入りし、珠洲市ボランティアセンターの運営支援に努めて参りました。災害は決して他人ごとではありません。社会福祉協議会が早々にボランティアセンターを立ち上げて支援している現実を見るにつけ、私たちの任務の重要性を再認識しているところでございます。これからは更に地域住民の方々と一緒に防災について考える機会を増やし、「誰もが安心して暮らせる地域づくり」に関連機関・団体、民間事業者様の参画を得ながら、肝付町はじめ関係所轄庁と連携し更なる向上を目指し取り組んで参りたいと思っております。

本年も、引き続きのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。結びに、皆さま方のご健勝・ご多幸を心からご祈念申し上げ新年のご挨拶いたします。

しめ縄飾りで肝付町福社会館が華やかに



今年も福社会館に、ふるさと工芸同好会の皆さまから手作りのしめ縄飾りをいただきました。

同好会代表坂口正人様は、「毎年町内4か所にしめ縄飾りを設置させていただいています。この取り組みは10年以上続けていて、毎年、会員の皆さんと楽しみながら作っています。」と話されました。

今年も新たな良い年を迎えることができましたことを、心より厚く御礼申し上げます。



令和6年度 肝付町『ふくし・ボランティア標語』 最優秀作品発表

最優秀賞作品 (応募総数 全542作品)

小学生の部	『「手伝うよ」 そのひとことが 宝物 』 高山小 2年 久木田 海 音
中学生の部	『 助け合う 差しのべた手と 受けとる手 』 高山中 3年 坂口 雄 哉
一般(高校生含む)の部	『 ボランティア できることを 一つずつ 』 新地振興会 西川 雅 子

赤い羽根共同募金の報告とお礼

「赤い羽根共同募金運動」は「自分のまちを良くするしくみ」をスローガンに、10月1日から12月31日までの3か月間、全国一斉に実施されました。今年も多くの皆さまより、温かい善意が寄せられました。心より御礼申し上げます。



◎一般募金・・・2,926,425円

戸別募金	●各振興会長並びに班長の方々のご尽力により、各世帯から寄せられた募金です。
法人・大口募金	●町内の各事業所から寄せられた募金です。 【協力事業所】(有)川野工務店/横山砕石(有)/横山典礼(株)/有下茂砕石/高山自動車(有)/(株)肝属環境サービス/山佐ホールディングス(株)/(有)加藤鉄工所/横山石油(有)/おおすみ半島スマートエネルギー(株)/南州農場(株)/(医)南泉会 高山胃腸科・外科/山佐産業(株)/内之浦漁業協同組合/(有)田中電気工業/(有)倉建設/内之浦森林組合/山生産業(株)/マルケイ水産/愛調剤薬局/勝和建设(有)/(株)花みやび/福原菓子店/(株)前原建設/(有)内之浦葬祭/国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所/山下酒造(株)
学校募金	●各学校の児童会並びに生徒会活動等により寄せられた募金です。 【協力校】 国見小学校/波野小学校 高山小学校/岸良学園 宮富小学校 内之浦小学校
職域募金	●企業・団体などの職域で、従業員に呼びかけて寄せられた募金です。 【協力団体】肝付町役場/肝付町社会福祉協議会
街頭募金	●来客の方を対象にした募金です。 《10月5日マックスバリュ笠之原店》 【協力団体】 宮富祭り実行員会/後田地区公民館長/ 宮富地区公民館長/波野地区公民館長/ 町老人クラブ連合会/パラスポおおすみ 【ボランティア参加者】 町立国見中学校生徒 《10月20日高山やぶさめ祭り》 【ボランティア参加者】 県立楠隼高等学校生徒/鹿屋市立女子高等学校生徒/ 町立准看護学校生徒/町立国見中学校生徒/ 町立内之浦小学校生徒/町立高山小学校生徒/ 肝付町共同募金委員会運営委員
その他の募金	●窓口募金（個人募金含む）、ボランティア団体募金・募金箱に寄せられた募金、寄付型自動販売機収益などです。

《使いみち》寄せられた募金は、町民の皆さまの温かい浄財です。地域福祉を推進する事業や様々な福祉課題に取り組むボランティア活動などに役立てられます。

肝付町での使いみちをWEBにて公開しています。「共同募金」→「はねっと」→「肝付町」で検索してご覧ください。

◎歳末たすけあい募金内訳・・・633,990円

戸別募金	●各振興会長並びに班長の方々のご尽力により、各世帯から寄せられた募金です。
------	---------------------------------------

《使いみち》令和6年度は在宅の「介護保険」要介護度4・5の方々へ歳末見舞金として贈呈いたしました。残りの募金は、令和7年度の地域福祉事業に活用されます。

なお、今年度の地域福祉の贈呈事業は、全ての振興会へ物品希望調査を行った結果、ご希望のありました振興会へ机または椅子の贈呈をいたしました。各振興会でぜひご活用ください。

赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございました！

日本赤十字社肝付町分区だより

『能登半島地震義援金』へのご協力ありがとうございました

令和6年1月1日に発生した激甚災害で被災された方々を支援するため、日本赤十字社鹿児島県支部及び肝付町分区では、令和6年1月から令和6年12月末の期間で義援金を受け付けました。肝付町分区にお寄せいただいた義援金 総額 366,447 円は、日本赤十字社鹿児島県支部を通じて各被災地が設置した配分委員会へ送金され、被災者へ配分されます。

皆様の心温かいご支援・ご協力に感謝し、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



能登半島地震災害復興支援報告

珠洲市は、能登半島地震の本震で震度6強を観測。4メートルを超える津波が押し寄せ、多数の家屋が壊滅的な被害が起きました。本会からも2名の職員が「珠洲市災害ボランティアセンター」に派遣されました。

地域支援センター所長 「森 武志」

派遣期間：令和6年5月26日～6月1日（支援5日間）

令和6年1月1日に発生した能登半島地震で甚大な被害を被った石川県珠洲市の「珠洲市災害ボランティアセンター」の運営支援に鹿児島県の支援チームとして派遣されました。

地震発生から6か月目に入ろうとしている時期でしたが、全壊や半壊の建物の多くがそのままの状況で大変ショックを受けました。日本全国から多くのボランティアが集まるため、私はボランティアセンターでボランティアの方々に対し活動時の注意事項を説明し、被災された方からの要望に応じて、どこの現場に何人必要か、またどのような活動のかなど調整し派遣する「オリエンテーション・マッチング班」で活動させていただきました。

常務調整役 「津代 幸一郎」

派遣期間：令和6年7月25日～7月31日（支援5日間）

今回の能登は、昨年1月の大地震でしたが、実はここ数年、中規模クラスの地震が起こっており、地場名産の「能登瓦」（丈夫だが重い）が、微妙に歪んだ家屋に決定的な打撃を与えました。私は、被災者からのニーズを基に被災者宅を訪問し、ボランティアの作業内容や必要な資機材、立ち入り家屋の安全性の確認などを行う「現地調査班」で活動を行って参りました。

被災地にはそれぞれの地域特性があり、私たちは、被災地の一日も早い復旧・復興に全力で支援するとともに、わが町に思いを馳せて地域の安寧を担保することも使命の一つです。東日本大震災支援後は、志布志湾内の漁業協同組合と災害支援協定を結びました。九州豪雨や熊本・能登地震を踏まえ、今年度本会に「赤十字防災教育指導者」が4名誕生しました。今後、地域の皆さんと「自助」「共助」の力を高めるために取り組んでまいります。



災害から、あなたと周囲の人々のいのちを守るように、 『赤十字防災セミナー』に参加してみませんか？

対象：町内会・自治会から小学校区程度までを範囲とし、原則として地域にお住まいの方。

会場：地域のコミュニティセンター、公民館、学校教室・体育館など

- 内容：
- ・災害への備え
 - ・家具安全対策ゲーム（KAG）
 - ・災害エスノグラフィー
 - ・うちのキケン
 - ・災害図上訓練（DIG）
 - ・ひなんじょたいけん

※カリキュラムは、自由に選択・組み合わせることが可能です。



【カリキュラム一覧】

- 1** 日本赤十字社の紹介（約10分間）
日本赤十字社の現在の活動内容や、災害時の役割、防災・減災への取り組みについて理解する。
- 2** 災害への備え（約60分間）
災害・防災についての考え方や地震・大雨災害など災害別の想定被害等から、平時の備えの重要性を理解する。
- 3** 災害エスノグラフィー（約120分間）
大規模災害の被災者の体験談を通じて、災害を追体験することで被災の具体的なイメージを理解する。
- 4** 災害図上訓練（DIG: Disaster Imagination Game）（約120分間）
地域の防災マップの作成を通じて、防災上の資源や危険箇所等を把握・理解し、個人や地域での防災対策の実施につなげる。
- 5** 家具安全対策ゲーム（KAG）（約30分間）
うちのキケン（小学5・6年生普及モデル）（約45分間）
自宅（部屋）の平面図を描くゲームを通じて、地震で起こる被害や危険な場所を把握し、家具の安全対策の必要性を理解する。
- 6** ひなんじょたいけん（約90分間）
避難所を作るカードゲームを通じて、大地震後の避難所生活の一部を体験し、「避難者の目線で心がける要点」を理解する。

必要なカリキュラムを選択・組み合わせることで実施

地域住民の
防災・減災に関する
知識・意識・技術の
普及向上

地域における
災害発生時の
応急対応にあたる
リーダー層の育成

お申込み・お問い合わせ先 肝付町分区（肝付町社会福祉協議会 内） 電話：68-8188

ボランティア団体の活動紹介

花神荘デイサービス『敬老会』の席で演芸を披露されました。施設をご利用の皆さまからアンコールの声も上がるなど楽しい時間を過ごされておりました。内之浦フラダンス同好会と高山コーラスは、町内の各種行事でも活躍されています。

【9月18日】内之浦フラダンス同好会

皆さんと一緒に楽しい時間を
過ごすことができました★



【9月21日】高山コーラス

利用者さんたちが楽しんでいる姿を見て
とても嬉しかったです♪



福祉教育を学びました

高山中学校
1年生 (93名)

- 11月7日 福祉講話
- 11月14日 福祉体験



高山小学校
3年生 (73名)

- 11月19日 福祉講話
福祉体験



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和6年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
こちらから
(ふくしの保険ホームページ)



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して2つのプランとします。

保険金額・年間保険料 (1名あたり)

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
	特定感染症		補償開始日から補償*		
賠償責任	地震・噴火・津波による死傷		×	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		
年間保険料			350円	500円	

*特定感染症についても10日間の免責期間がなくなり、補償開始日から補償対象となります。
なお、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は補償対象外となりました。

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667
受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

養護老人ホーム国見園からの 四季のたより

養護老人ホーム国見園での、秋から冬にかけて入居者様と一緒に楽しく過ごした行事をご紹介します。

9月
祝長寿！
敬老会を開催しました



11月
いざ決戦！紅白対抗運動会
レクリエーションを開催



12月
クリスマス会は職員と一緒に
盛り上がりました♪



◆養護老人ホーム国見園
〒893-1207 鹿児島県肝属郡肝付町新富 4585 番地 2 TEL : 0994-65-2302 FAX : 0994-65-1560

スタッフ募集については、直接お問い合わせください。【担当：中村（浩）】

生活支援コーディネーター 地域活動紹介

くにみ・がわかみ「かぼ茶まつり」

10月27日(日)、川上・国見地区の支えあいの拠点、“茶のんけ結いの家”にて、ハロウィンイベント「くにみ・がわかみ かぼ茶まつり」を開催しました。この行事は、茶のんけ結いの家で実施している介護予防体操や生きがいづくりを目的とした活動などを、地域の方々に知ってもらい、多くの方々に参加・活用していただくことを目的として、登録出展者や地域住民の方々と一緒に試行錯誤を重ね実施したイベントになります。

地域の方々が手作り作品をチャレンジ販売している“てけてけマルシェ”を屋外で出店するとともに、手作りの温かい“かぼちゃスープ”のふるまいや、自分だけのオリジナルプリントバックが製作できる“ワークショップ”、美味しい手作りお菓子やドリンクの“カフェ”もオープンしました!! 小さなお子様からご高齢な方々まで約80名が来場され、賑やかな楽しいハロウィンイベントになりました。



くにみ「竹灯籠まつり」

12月21日(土)、後田地区公民館で「第7回くにみ竹灯籠まつり～楽竹(たのちく)Night～」が開催されました。このイベントは、地域が大好きで盛り上げたい有志で構成される「くにみ楽Cafe & Bar 会議(未来を語る若者会議)」が中心となり、「国見地域づくり協議会」や子どもたちが中心となる団体「国見よかとこ祭り実行委員会」、小中学校の先生や生徒など、幅広い世代で協力し合って開催している恒例行事です。

7年目を迎えた今年のテーマは「大隅絆灯(おおすみハート)～華～」それぞれの“まち”と“ひと”の心の絆を結び、地域を盛り上げておおすみの明るい未来を灯すということで、大隅半島の各町の“はな”を中心に幾何学(きかがく)模様の竹灯籠約8,700本が会場を照らしました。また、ステージイベントも開催され、躍動感あふれるエイサーやひょっとこ踊り、素敵な三味線の音色でさらに賑やかなイベントとなりました。今年は、強風に見舞われた時間もありましたが、町内外から約350名の方々が足を運ばれ、地域の方々の思いや懸命な努力と、ご来場くださった方々も一緒に火を灯してくださる姿もあり、今年も心温まる癒しと笑顔あふれる催しとなりました。



「温かい♪ドリンクコーナー」やいきがい応援「てけてけマルシェ」も賑わいました☆



「宝探しの会」～次へのステップ明るい未来へつなぐ～

本会は、11月21日に有明地区を対象に、サロン活動や支え合い活動など様々なかたちで活躍されている当地区の住民の方々と一緒に、有明地区公民館で【宝さがしの会～次へのステップ明るい未来へつなぐ～】というテーマで宝探しの会を開催しました。『地域の身近な場所・物・人・困りごと・こんなあったらいいな♪』という内容で、当日は14名の方々と一緒にゆっくりお茶を飲みながら自分の住む地域について語り合いました。



話し合いでは、「(景色)見晴らしが良いので、ロケットや志布志の花火大会もきれいに見える」「地域の高齢化などで農業・漁業の担い手不足が深刻だ」など深い話から嬉しい話など多くの声を聞くこともでき、「今後もこのような会を継続したい」との声も聞かれました。

これからも“皆さまが安心して住み慣れた地域で楽しく暮らし続けられるように”大切にしていきたいことを再確認しながら、地域の方々と一緒に住みよいまちづくりを目指していきたいと考えております。